

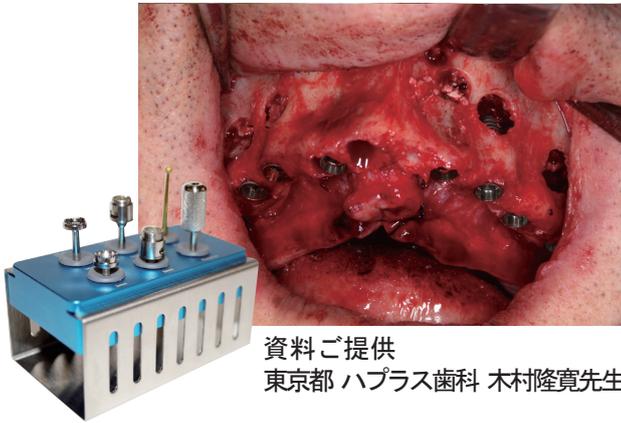
BBC ラテラルアプローチ システム

BBC Lateral Approach System

Magnetic Lateral Approach Drill Kit

マグネティック ラテラルアプローチ ドリルキット

磁石の反発力を利用して上顎洞粘膜を傷つけずに
ラテラルから開窓させるシステムです。



資料ご提供
東京都 ハプラス歯科 木村隆寛先生

■ マグネティックドリルの仕組み

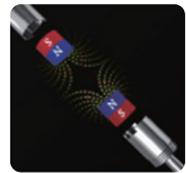
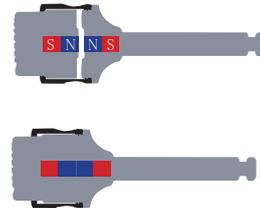
マグネティックドリルは3つのパーツで構成されています。

- A. カバー
- B. ドリル
- C. コントラ部



通常の回転時は磁力の反発によりBがAの中で空回りしていますが、骨面にドリルを押し付けるとBとCの凹凸が嵌り合いBを回転させ、切削が出来ます。骨髄開窓後、粘膜に到達すると磁力の反発でBとAが離れ、ドリルが空回りを始めます。

■ サイズ



■ マグネティック ラテラルアプローチ ドリルキット

- ① ウィンドウトレフィン 1mm
- ② ウィンドウトレフィン 2mm
- ③ マグネティックドリル 1mm
- ④ マグネティックドリル 2mm
- ⑤ ダイヤモンドドリル φ 3mm
- ⑥ リムーバー (分解・洗浄時使用)

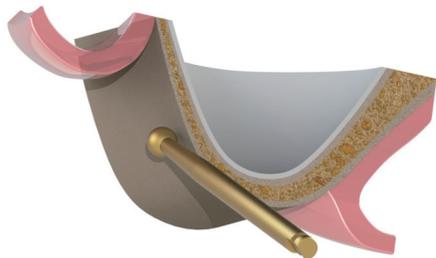
販売名：マグネティック ラテラルアプローチ ドリル キット
 一般的名称：歯科用インプラント手術器具
 クラス分類：一般医療機器
 製造販売業者：株式会社社会ブレインベース
 医療機器製造販売届出番号：13B1X00145000021

【使用方法】 【使用上の注意】 は添付文書をご確認ください。

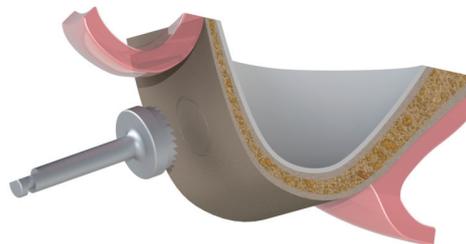
マグネティック ラテラルアプローチ ドリルキット操作方法

■サージカルプロトコール

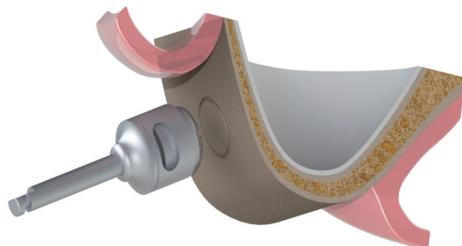
①骨の厚みが2mm以上、不均一の場合には付属のダイヤモンドドリルにて形成してください。
【800rpm】



②ウィンドウトレフィンにてグループ形成を行ってください、また、グループ形成時に洞底骨を穿孔しないように注意してください。
【800rpm】



③グループ形成を行った溝に合わせて、マグネティックドリルを骨面に押し当て開窓してください。骨開窓時、抵抗が無くなり次第、即座にドリリング操作を止めてください。
【800rpm】



④上顎洞底粘膜が裂開していない事を確認後、粘膜の剥離、BBCポーンキャリアなどを使用して骨補填材の填入操作を行ってください。



マグネティックドリル 分解の仕方

①コントラ部にリムーバー凹部を組み合わせてください。



②リムーバーを半時計回りに廻してください。



③コントラ部が外れた状態です。



④カバーからドリルを取り外してください。



⑤ブラシ、超音波等により洗浄を行ってください、洗浄後は必ず、乾燥した状態で保存してください。



マグネティックドリル組立て後の確認

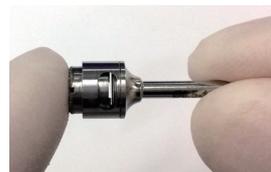
①分解の仕方と逆の手順で組み合わせてください。



②ドリルがコントラ部から離れている事を確認してください。



③ドリルの先端を軽く触り空回り、磁力の反発を確認してください。



④ドリルを押し付け後に、回転させ抵抗があるか確認してください。



⑤ご使用前に①～④の動作確認後、滅菌操作を行ってください。

